

弱い私は死にましたの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	弱い私は死にましたの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	弱い私は死にましたを読んだことのある20代～40代の男女6名
調査期間	2025年4月3日～2025年4月5日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/yowaiwatasihasinimasita/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 弱い私は死にましたを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	3人
30代女性	3人
40代男性	0人
40代女性	0人
50代男性	0人

Q2: 弱い私は死にましたの面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

主人公のディアナが、どんな苦境に立たされても絶対に諦めない姿勢を見せてくれるので、読む方も勇気が沸いてくるような作品でした。一度死んでしまったからこそ覚悟が決まっているというのも説得力があり、女性としての誇りや強さをしっかり持っているのがカッコいいです。悪い奴らが成敗されていくのが気持ちよいですし、起伏の多い展開が続くので全く読み飽きなかったです。

主人公のディアナは、家族や使用人など身近な人たちがみんな敵という過酷な運命を抱えていて、それでも負けないところが凄いなと思いました。敵だらけの彼女の唯一の味方であるダニエルとのチームワークも見どころです。サスペンス要素が強いので見ててハラハラドキドキできますし、ディアナとダニエルにどんどん感情移入しながら楽しめるのでオススメです。

死に戻り系はそれほど斬新なストーリーというわけではないですが、絵も丁寧でテンポもよくて引き込まれました。ひどい目にあった地獄のような状態から徐々に力を蓄えて復讐を進めていくのは気持ちがワクワクするし、応援したくなるので目が離せなくなります。しっかりと復讐してスッキリ爽やかな読後を期待したくなります。

妾の子として育ったディアナが、母親が亡くなったあと父親に引き取られ豪邸で一緒に暮らすことになるも、それは病弱な妹アイリーの予備として招かれただけで、彼女が元気になった今は用無しとされ雑な扱いをされ、拳句の果てに婚約者に色目を使ったと毒殺されてしまうところが可哀想だと思いました。しかし、目を覚ますと一年前に戻っており、ここからやり直さなくてはと人格が変わったかのようにイキイキと、ときに図太く図々しくなったディアナを応援したくなりました。

死に戻りという設定が斬新ということもあり、時間を忘れて読み進めることができる作品だなあと感じました。復讐というテーマながらも、単なる憎しみだけでなく、主人公の強さを感じさせるストーリー展開が魅力的でした。また、キャラクターの心理描写が丁寧に描かれているので感情移入しやすい点も個人的に高評価できるポイントでした。

主人公がタイムリープして、過去の弱い自分を悔いて、自分を陥れた義理妹達に、今度こそ自分を守る為に、今までの知恵と行動力を発揮して、相手の化けの皮を剥がしていくスカッとする爽快感が読んでいてとても心地良かったです。

また、主人公自身が、「一度死んだならもう何も怖くない、やられた分しっかりやり返す」と過去の弱い自分と決別し、前向きに復讐に挑む様は、とってもカッコイイなと感じました。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス